

付録L：「汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項」

(平成14年3月29日 基本問題専門部会了承)との対応

本ガイドラインにおいて想定する申請データ全体の構造は、「汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項（平成14年3月29日 基本問題専門部会了承）(*1)」における「申請データ設計ガイドライン」に基づいて、図1に示すモデルをベースとしている。

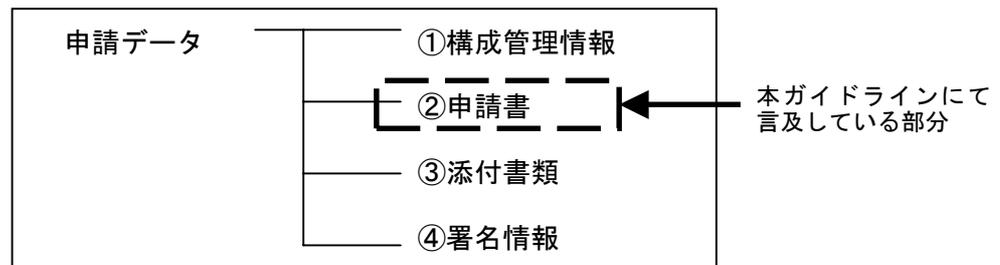


図1 申請データ構造のモデル

- ①構成管理情報 : 申請データを構成する各要素(②~④)を識別、取りまとめ、管理するための情報
- ②申請書 : 各手続に定められた申請書様式に申請者の氏名、申請情報等が記載された情報
- ③添付書類 : 各手続で必要となる申請書以外の情報(図面等)
- ④署名情報 : 申請者が行った電子署名に関する署名値や申請者証明書等の署名関連情報

本ガイドラインにおいては、上記モデルのうち「②申請書」に記載する項目に関して述べている。上記モデルに基づいた具体的な実装例を図2に示す。また図2の各ファイルの概要を表1に示す。

本ガイドラインにおいて記述している内容は、図2の実装例においては、様式XMLファイル、様式DTDファイル、共通ボキャブラリDTDファイルの部分に関連するものである。

(*1) (http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/020329_1.htm)

申請データを構成するファイルの実装例

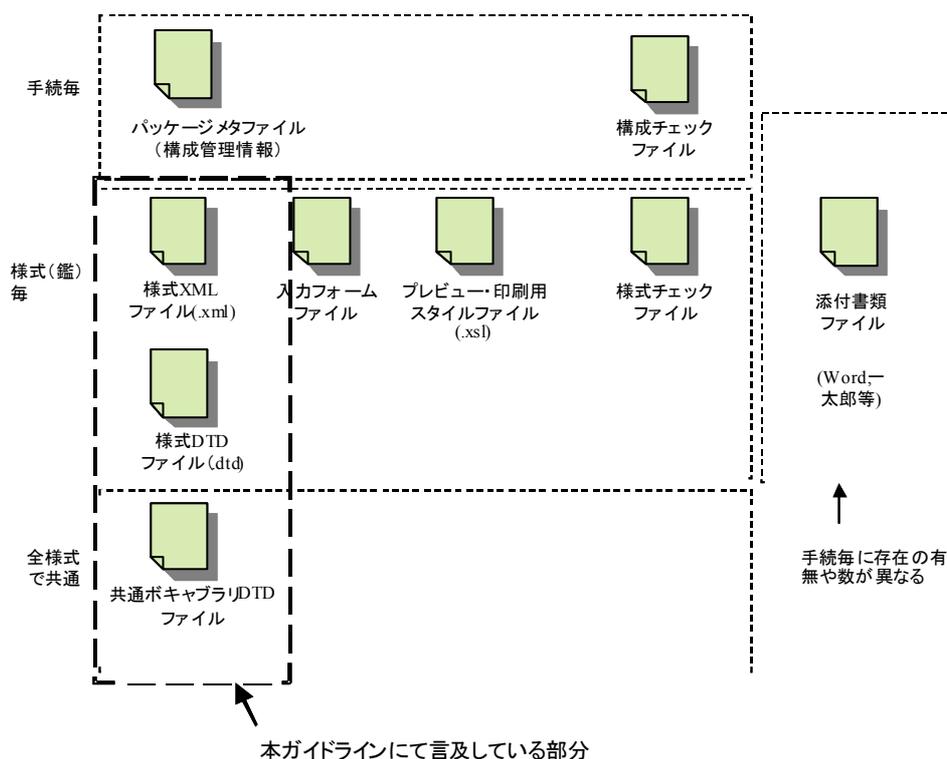


図2 申請データを構成するファイル実装例

表1 各ファイルの概要

ファイル名	概要
パッケージメタファイル(構成管理情報)	当該手続の申請データを構成する各ファイルを識別、とりまとめ、管理するためのファイル
構成チェックファイル	必須添付文書の有無等の、申請データ全体のファイル構成をチェックするためのチェック内容が記述されたファイル
様式XMLファイル	申請書様式の各項目(申請者の情報、申請情報等)を記載するファイル
様式DTDファイル	様式XMLファイルの各項目の定義を記述したファイル
入力フォームファイル	申請書様式に対する画面上での入力の際の画面レイアウト情報を記述したファイル
プレビュー・印刷用スタイルファイル	申請書様式をブラウザを用いてプレビュー、印刷する際のスタイルを記述したファイル
様式チェックファイル	様式における必須項目に対する記述の有無等、様式の記述内容を形式的にチェックするためのチェック内容が記述されたファイル
共通ボキャブラリDTDファイル	申請書共通ボキャブラリの定義を記述したファイル
添付書類ファイル	Word、一太郎、Excel等の添付文書ファイル。手続によってその有無や含まれる数は異なる。

注)一つの手続きが複数の様式から構成される場合には、「様式(鑑)毎」の部分が複数存在する。